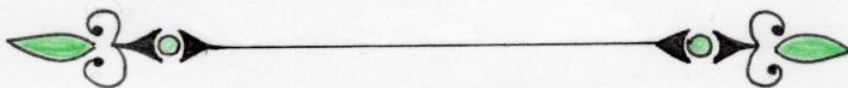
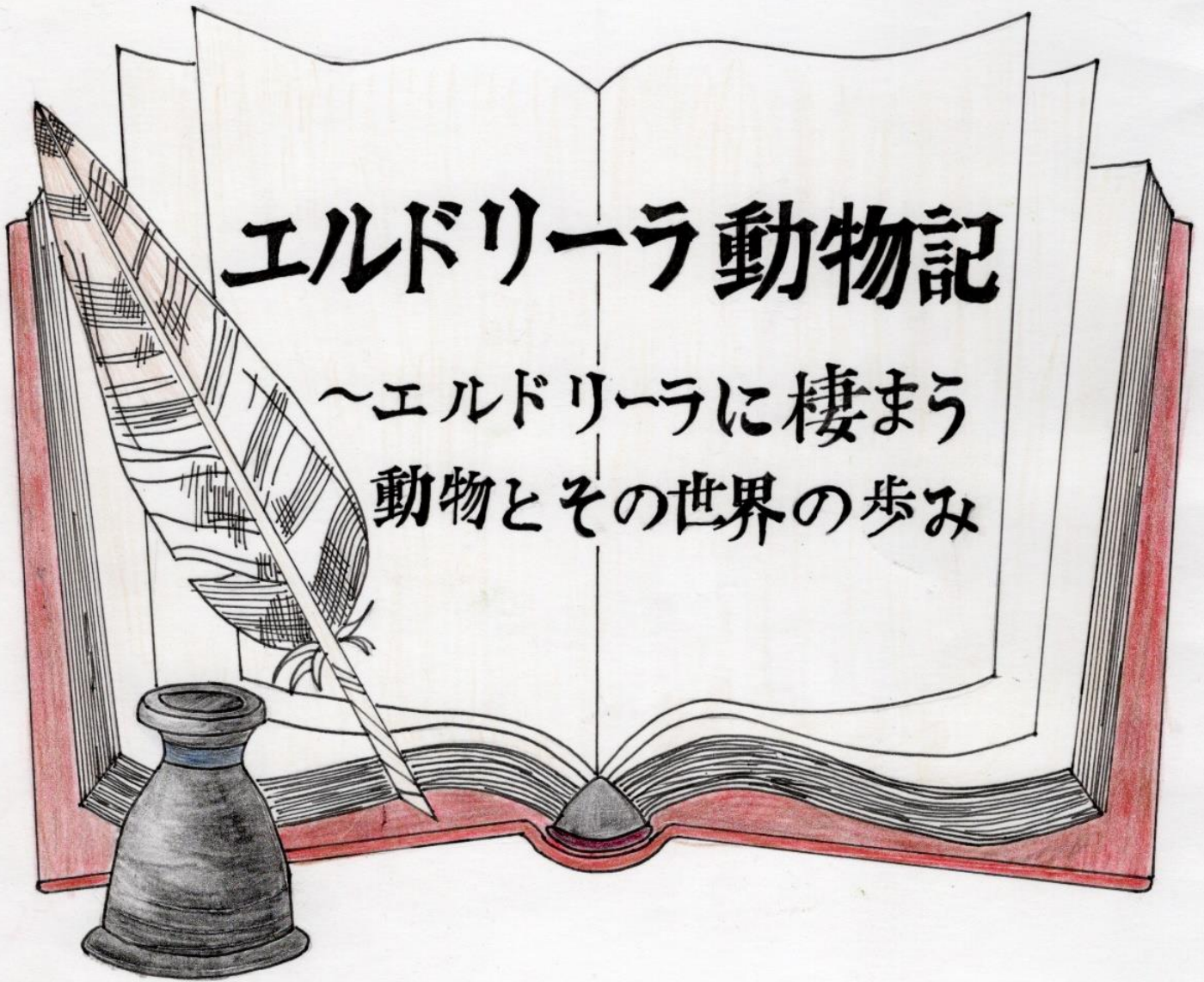


Ideales Land für Tiere

# エルドリーラ動物記

～エルドリーラに棲まう  
動物とその世界の歩み





角・背中の毛  
森の中に沢山  
生息している、  
草花を模してい  
る。

尾  
森にある御神木  
を、模している。

耳飾り  
上から、水、  
太陽(月)の光、  
草木、空気を意  
味している。

### ヴァルト *Wald*

年齢……推定一万五千歳  
出身……森の中で最大最高齢の御神木  
棲んでいる処……人の手が加わっておらず、ごみの  
ない豊かで綺麗な森でしか生き  
ることができない。ただ、森を回  
復させるときは平気。  
趣味……森に棲んでいるほかの動物たちと  
談笑すること。森と人里との際ま  
で行って人間観察をすること。

### 性格・逸話・言い伝え

人望が厚くとても温厚  
で慈悲深い性格。世の中の  
ことは何でも知っている  
長老様。  
周囲の木々や草花から  
エネルギーを得ているた  
め、ものを食べることはな  
い。又、寝ることもしてい  
ないらしい。  
暗闇の中では、両目が緑  
色に光っている。又、暗闇  
の中でも周囲が鮮明に見  
える。  
世界各地にある、森を守  
護しており、森が枯れたり  
汚れたりすると、その森を  
回復させることができる。  
人々は、ヴァルトのことを  
「森の守護神であり、こ  
の世界の創造神であり、怒  
りを買うと大いなる災い  
が起こる」と、先祖から  
代々言い伝えられている。  
又、その土地の土地神様で  
あるとも言い伝えられて  
いる。  
「落雷によって起きた森  
林火災で、森一つ分が焼け  
た時、ものの数秒でその森  
を回復させた」という逸話  
がある。

### 歴史 history

エルドリーラ世紀一世紀  
地球では紀元前10世紀に  
登場した。(ちなみに、地球  
での紀元前10世紀はメソポ  
タミア文明が始まる10世紀  
前)  
ヴァルトが登場した頃  
(この世界にいる人間がエ  
ルドリーラ世紀一世紀を定  
めた。  
人々は、ヴァルトのこと  
を森の守護神であり、世界  
の創造神であると考えたた  
め、とても丁重に扱われた。  
又、土地神様でありその土  
地の万事を司るとされ、人  
里と森の境界に小さな祠を  
立てて祀っている。  
「落雷によって、回復さ  
せた」という逸話があるが、  
実際エルドリーラ世紀10世  
紀に起きた森一つ分が焼け  
た森林火災で、その森をた  
ったの数秒で回復させたこ  
とがある。  
近年は、人間による大気  
汚染や、過度な森林伐採、  
川の水質汚染、土壌汚染に  
悩んでおり、日々汚れた森  
を清浄している。又、森に  
棲む動物たちが人間に乱獲  
され、数が減っていること  
にも頭を抱えている。

角 海に生息している珊瑚を模している。

羽 海水を模しており、海水の透明度がわかる。

目 海の深さを表している。



## メーア

## Meer

年齢……推定一万二千六百歳  
 出身……珊瑚礁の海の水泡  
 棲んでいる処・珊瑚に囲まれた海底に水没した神殿。ゴミがなく汚れていない綺麗な海にしか棲めない。ただ、環境を回復させるときは平気。  
 趣味……神殿の上の日向でお昼寝をする。と。天気の良い日に、海の中を泳ぎ回ること。

### 性格・逸話・言い伝え

海に棲む他の生き物たちを守護している。優しい性格。ただ、自分及び海に棲む生き物たちに危害を加えようとする者には容赦しない。

ものを食べることはなく、珊瑚や日光、月光からエネルギーを得ている。

棲んでいる神殿は、暖かくて浅い海に水没しているらしい。又、神殿の屋根の上で、まるまった状態で日向ぼっこをしたり、お昼寝をしている姿がよく目撃されている。

「額にある青い貴石から発せられる超音波で、海洋ごみや水質汚染の原因物質を分解、消滅させることができる。」という逸話がある。

他にも、メーアが泳いだ時に通った跡の水は、浄化されているらしい。

両目の上のあたりから生えている四本の角と、胴の側面から生えている羽は、海のような色をしていて透き通っている。

珊瑚礁に棲む小さな魚たちと気泡を作り出して遊んでいる。

### 歴史 History

ヴァルトが登場した時から3世紀たった、エルドリーラ世紀3世紀地球では紀元前3世紀に登場した。(ちなみに、地球の紀元前3世紀では前漢の第二代皇帝が誕生)

メーアが登場した頃、(この世界にいる)人間はまだまだあまり人口が多くな、点々と集落の様なものを作り暮らしていた。

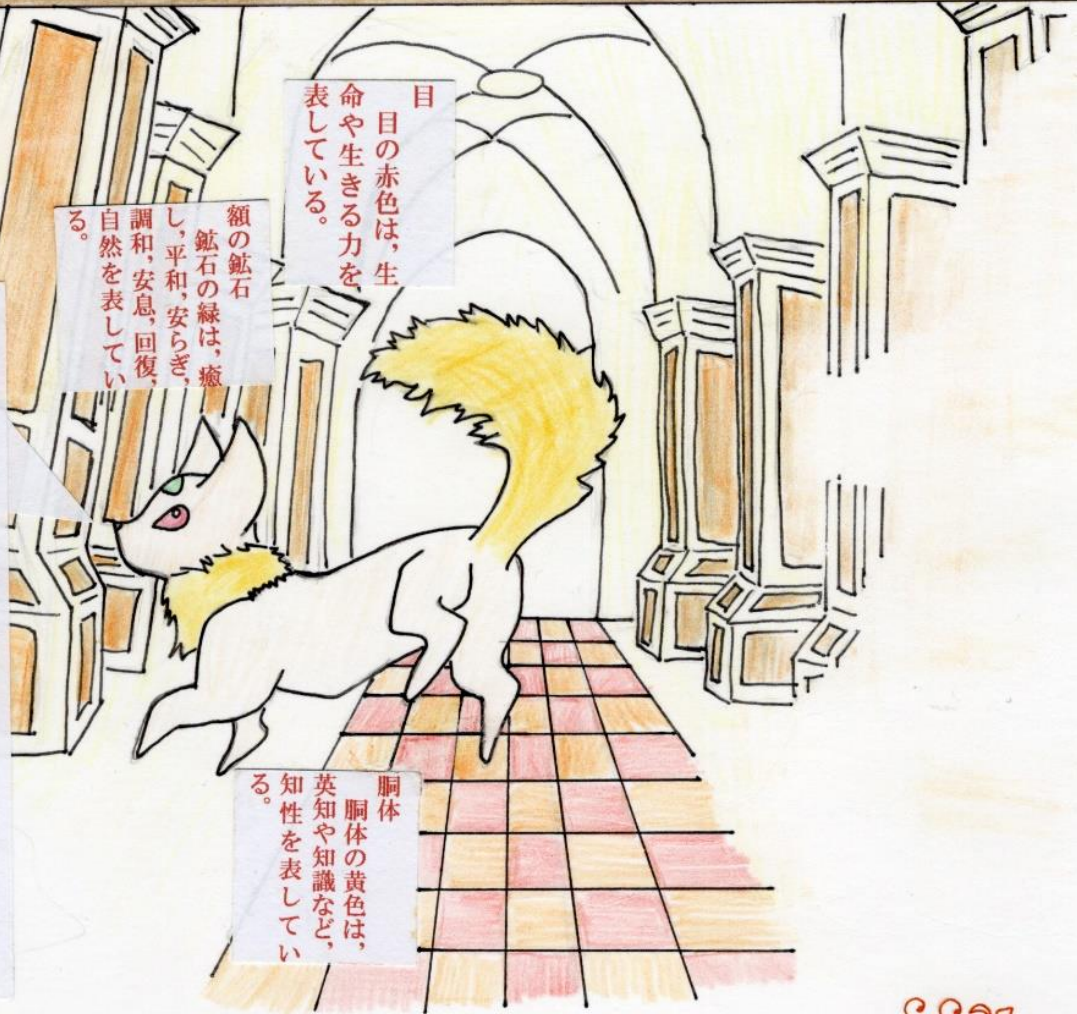
人々は、メーアのことを海の守護神であり、人々に恵みをもたらしてくれる五穀豊穡の神であると考えたため年に一度祭りを挙げるなど崇められていた。

近年は、人間による水質汚染や、太陽系第三惑星(地球)から流れ着く大量の海洋ごみ(マイクロプラスチック)に悩まされており、日々環境回復に努めている。

又、人間による過度な魚の乱獲にも悩まされており、乱獲を行った船を記憶し、過度な乱獲を阻止するために定期的に漁船を阻むバリアを作っている。

## ルイーネ Ruine

年齢……推定一万二千歳  
 出身……古代遺跡に住んでいた賢者が残した遺産。  
 棲んでいる処・「幻の谷」と呼ばれる谷の深部に位置する、遺跡に棲んでいる。  
 趣味……遺跡の書庫の書物を、読み漁ること。神殿の周囲に広がっている森を駆け回(メイト)。



目  
 目の赤色は、生命や生きる力を表している。

額の鉱石  
 鉱石の緑は、癒し、平和、安らぎ、調和、安息、回復、自然を表している。

胴体  
 胴体の黄色は、英知や知識など、知性を表している。

## 性格・逸話・言い伝え

賢者と呼ばれるだけあって、神殿周囲に棲む動物たちの中で一番賢く、幅広い分野の古今東西の知識、出来事など様々な事をよく知っている。

古代の文字も、現代のどの国の文字でも読むことができる。又、書くこともできる。そして、聞くことも話すこともできる。そのため、遺跡にある書庫で、いつも様々な書物を読み漁っている。

相談室のようなものを開いて、訪れる動物たちの相談相手になっている。又、争いことが起きた時などは必ず仲裁をしているほど優しい性格。ただ、少々いたずら好きな面もある。

放浪癖があり、遺跡の周囲に広がる森を駆け回っているため、遺跡に不在の時があるらしい。  
 今まで、一度でも見聞きしたことは決して忘れないという、超能力的な記憶能力を持っている。

## 歴史 history

ヴァルトが登場した時から「世紀」だった、エルドリーラ世紀の世紀地球では紀元前3世紀に登場した。(ちなみに、地球の紀元前3世紀ではジェセル王のピラミッドが建造された)

ルイーネが登場した頃(この世界にいる)人間達は大陸(世界)にそれぞれ八つの大国を建国した。八つの大国ができたことで、人々は国同士争いを始めた。地域によって異なるが、「生命を司る神」「英知を司る神」などとして考えられていた。

ルイーネが棲んでいる「幻の谷」は周囲を霧で覆われていて人間たちが立ち入ることができないので、ルイーネを見た人はおらず、幻の動物として扱われている。

「生命・英知を司る神」とされていたため、各国の権力者達は争いに勝つすべを欲しがり、血眼になってルイーネのことを探していた。



## ビブリオテーク

### Bibliothek

年齢……推定八千二百歳  
 出身……名前のない黒い表紙の本  
 棲んでいる処……古代図書館の中心部にある図書館  
 趣味……自分の棲んでいる図書館の蔵書を読み漁ること。本棚の上でお昼寝をすること。

目の黄色は、英知や知識など、知性を表している。

胸元の鉱石  
 鉱石の橙色は生命や生きる力、深い知恵を表している。

胴体  
 胴体の黒色は、真実を見抜く強さや、全てを吸収するという意味がある。

### 性格・逸話・言い伝え

橙色の鉱石が埋め込まれ、金色の糸の刺繍が施された黒い表紙の本から生まれたため、容姿にそのまま反映されている。

棲んでいる図書館は、アルバイツインマー(Arbeitszimmer)と呼ばれる古代図書館の中心部に位置する。街で最大の図書館。

図書館内のどの本棚のどの位置にどんな内容の本が置かれているのか全て記憶している。又、本の題名や著者、中の文に至るまで一言一句記憶しているらしい。夜の見回りの時には、鉱石ランプを尾にひっかけて明かりを取っている。

若干人見知りで、初対面の人には無愛想。ただ、仲良くなると、よく笑いよく喋るようになる。胴のベルトの左右に一冊ずつ本がついている。ポルドー色の表紙の本は、図書館の蔵書リストや見取り図などが記入されている。ネイビー色の表紙の本は、黄色の鉱石が埋め込まれており、探したもののや知りたいことを頭の中で想像しながら触れると、その答が本のページに浮かび上がってくる。又、その二つの本はビブリオテークの許可なしには触れることはできない。

### 歴史 History

ヴァルトが登場した時から3世紀たった、エルドリーラ世紀8世紀(地球では紀元前1世紀)に登場した。(ちなみに、地球の紀元前1世紀では世界最古とされるアレクサンドリア図書館が建設された)元々八つの大国だけであつたが、ビブリオテークが登場した頃には、争いは激化し二十以上もの国に分裂していた。

ビブリオテークが棲んでいる図書館や古代図書館の図書館には、異世界の本も数多くあり、兵法や武器など争いに関する本もあつたため、各国の権力者達は、その本を手に入れようと必死になつてた。そのような人たちが情報を手に入れ争いが激化し犠牲となる者が増えないよう尽力していた。

古代図書館やその他の街に人々からは、英知の神の化身とされ敬われていた。子供が七歳になると、賢い子に育つようという、儀式も催された。

ツァイト

Zeit

年齢……推定五千七百歳  
 出身……振り子時計  
 棲んでいる処……時計の街にある古い洋館  
 趣味……主からもらった懐中時計の  
 手入れをすること。洋館内  
 の時計から異世界に行く  
 こと。

目  
 赤と青のオツ  
 ドアイであり、赤  
 色の目が昼を、青  
 色の目が夜を表  
 している。

尾  
 二又の尾は、  
 時計の長針と短  
 針を模してい  
 る。

尾  
 二又の尾は、片  
 方が午前を、もう  
 片方が午後を表  
 している。



性格・逸話・言い伝え

ツァイトは、主にはとても忠実で  
 あり、主を自分で決める。

ツァイトが棲んでいる古い洋館  
 は、ウーア(Ur)と呼ばれる時計の街  
 にある。その洋館には、一万个以上  
 にも上る時計があり、その時計は、  
 それぞれ別の様々な世界に繋がって  
 いるらしい。その全ての時計を制御、  
 操る力があるため、「時の番人」をし  
 ている。

この洋館に訪れる者たちの感情を  
 読み取ることができ、悪意を持った  
 者は洋館に立ち入らせない。

首にかけている時計で洋館内の時  
 計を全て管理している。又、訪れる  
 者に合った時計を探すことができ  
 る。

「洋館内にいるとき、洋館内の時  
 を進めたり、遅らせたり、止めたり  
 など自由自在に操ることができ。」  
 「それぞれ時計によってつながって  
 いる異世界の時を、自由自在に操る  
 ことができる。」などの、噂がある。

目は、左目が赤色、右目が青色の  
 オツドアイである。

ツァイトが登場した頃には、人間  
 による過度な環境破壊が深刻化して  
 おり、何とかできないものかと、洋  
 館内の時計から異世界に行き、情報  
 や解決策を探している。熱心な性格。

歴史 History

ヴァルトが登場した時  
 から19世紀たった、エル  
 ドリーラ世紀20世紀地球  
 では紀元後20世紀に登場  
 した。(ちなみに、地球の  
 紀元後20世紀ではオラン  
 ダの科学者クリスティア  
 ーン・ホイヘンスによって  
 世界で初めて振り子時計  
 が設計された)

ツァイトが登場した頃  
 には国同士の争いは少し  
 抑えられていたが、大気汚  
 染や水質汚染、過度な森林  
 伐採など人間による環境  
 破壊が深刻化していた。

環境破壊が深刻化した  
 ことで、ヴァルトやメーア  
 から相談を受けており、ピ  
 ブリオオテークと協力して、  
 対策案を練っている。

又、国同士の争いも少し  
 抑えられてはいるが、争い  
 は沈静されていないので、  
 それについても悩まされ  
 ている。

争いなどにより、この世  
 界を離れたいと望む人た  
 ちが、洋館に何十人もやっ  
 ってきて、対応に困ってい  
 る。

森の中で最大最古の  
神木から  
生まれた  
森の精霊

ヴァルト Wald  
人の手が加わってあらす  
ぶきのない豊かで綺麗な  
森でしか生きることが  
できない。  
人が優しく  
とて温厚で慈悲深い  
世の中のこと何でも  
している長老様  
周囲の木や草花  
からエネルギーを得ている  
ため、ものを食べることはない。  
森に棲む生き物の森の  
中でヴァルトが寝ているところを  
見たことがある者は皆無である。  
音階の中では、両目が緑色に  
光っている。又、猫などと同じく、  
暗闇の中でも周りの景色が鮮明に  
見える。



推定  
一五五歳

遺跡の賢者

ルイネ Ruine

「幻の谷と呼ば  
れる谷の深部  
に位置する  
遺跡に棲ん  
でいる。

賢者と呼ばれる  
だけであつて、一書賢く  
古今東西の知識、  
出来事など色々な  
事をよく知っている。  
古代の文字も、現  
代の文字も、どの  
国の文字でも読むことかできるし、書くこともできる。  
遺跡にある書庫で、いつも様々な書物を読まわって  
いる。  
相談事を聞いて請け負う者の相談相手になっている。  
又、争い事が起きた時などは仲裁をしているほど優しい  
性格。ただ、ウツミだつたら怒り出す。また、逃げ回  
る。放浪癖があり、遺跡の周囲に広がる森を、よく駆け回  
っているため、遺跡に不在の時がある。  
今まで、見聞さした事は決してない超能力的な  
記憶能力を持っている。

推定  
一万二百歳



名前のない黒い表紙の本  
から生まれた

図書館の官吏

推定 八千二百歳

ビブリアオテク Bibliothek

赤い鉱石が埋め込まれ、  
金色の糸の刺繍がほどこされた黒い表紙  
の本から生まれたため、容姿にその影反映  
されている。  
アールハイムツィマ (Arbeitszimmer)  
と呼ばれる古代図書館街の中心部にあり、  
街最大の図書館で暮らしている。

ビブリアオテク  
は、図書館の  
ための利用  
者の管理に  
関する内容  
の本が書か  
れているか  
全て記憶し  
ている。又、  
本の題名が  
著者の文に  
あるまで一  
言一句記憶  
している。  
本棚の上で  
寝ることが  
ある。



夜の見回り時には、  
鉱石ランプ(→)を尻にひか  
けて明かりをとっている。  
胸ベルトの左右に1冊ずつ本が  
ついている。ホルン色の表紙の本は図書  
館の蔵書リストや見取り図などが記されて  
いる。赤い色の表紙の本は、金色の鉱石が  
埋め込まれており、摸したときの感触を  
覚えておくことができる。  
赤い鉱石が埋め込まれており、摸したときの感触を  
覚えておくことができる。

高さ2.5mの  
振子時計から生まれた  
時の番人  
ヴァルト Zeit

ヴァ(カ)と呼ばれる時計の街にある  
古い洋館で生まれ、現在までそこに棲んでいる。  
その洋館には150個以上の時計があり、  
その時計はそれぞれ、別の様々な世界につながり、  
いるらしい。その全ての時計を制御できる力があるため、  
書かしている。

ヴァルトは、主はほとん  
ど忠実であり、主を自分で  
決める。

この洋館に訪れる者たちの  
感情を感知する能力で、  
悪意を感ずる者は洋館に  
立ち入らせない。  
首にかけている時計が  
洋館内の時計を管理  
している。又、訪れる者に  
合った時計を授けられ  
ることがある。  
洋館内に居る時、  
洋館内の時計を動かす  
ことができたり、止まったりなど、  
自由自在に操ることができ

推定  
五千七百年



棲んでいる神殿は、暖かて浅い海に  
水没している。  
ものを食うことはなく、  
珊瑚や日光、月光から  
エネルギーを得ている。  
神殿の屋根の上で  
日向ぼっこをしてい  
る。また、珊瑚の  
殻に寄りかか  
り、貴石から産せられる  
超音波で、海洋ゴミや  
水質汚染の原因物質を  
分解、消滅させることが  
できる。  
メアが泳いだ時に  
通った跡の水は、浄化されて  
いる。  
両目の上あたりから生えている四角の  
角と頬の側面から生えている羽は、  
海の色を帯びていて透き通っている。

珊瑚礁の海の  
水泡から生まれた

海の守護者

メア Meer

珊瑚に囲まれた

海底に水没した

神殿に棲んでいる

海に棲む他の生き物

を守護している

危害を加えようとする

者には容赦はない

ゴミがたまり汚れていない

綺麗な海にしか棲めない

推定  
一万二千六百歳

